

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	商工観光課(商工労政担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	住宅リフォーム支援事業	事業番号	12216

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2-6	住環境の改善
	施策目標	多様なニーズに対応した住環境を提供するまち	

2 事務事業の目的

目的	個人住宅リフォームの資金借入の際の融資保証料を支援する。
成果	リフォームによる市民生活の向上や、主にリフォーム業界を中心とした市内経済の活性化に繋がる。
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input checked="" type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要					
	27	リフォームによる資金借入の際の融資保証料の補助					
	28	リフォームによる資金借入の際の融資保証料の補助					
	29	リフォームによる資金借入の際の融資保証料の補助					
	30	リフォームによる資金借入の際の融資保証料の補助					
	31	リフォームによる資金借入の際の融資保証料の補助					

		(単位:千円)	H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
事業費と内訳	事業費		150					150
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源		150				
	人員(人工)		0.04					
	職員費(人員×8,081千円)		323					323
	総事業費		473					473

維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	融資保証料補助件数	1件	3件	5件

**事務事業改善策
(継続事業のみ記入)**

策定を予定している「エネルギービジョン」との整合性を図りつつ、建築住宅課において創設している耐震化に対する補助制度も踏まえた新たな直接補助制度の導入を検討。

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	リフォームによる市民生活の向上や、主にリフォーム業界を中心とした市内経済の活性化に繋がる。
--------------------------	---

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 融資保証料の財政的支援をすることで、市民の軽減負担が図られる。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 財政的支援要素が強いため、事業の特殊性からも、市以外が単独で取り組むことは難しい。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 近年、融資保証料の補助実績はないが、より市民が活用しやすい制度構築を図り対応する必要がある。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 近年、融資保証料の補助実績はないが、より市民が活用しやすい制度構築を図り対応する必要がある。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地はある 現行制度において、保証料一括払いに対応した金融機関が少なくなったため、制度活用の際は対応可能な金融機関に偏る。
カ. 事業の有効性	<input type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input checked="" type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 耐震化を踏まえた直接補助制度(建築住宅課)と本制度の整合性を精査し、よりよい制度構築をしていく必要がある。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【再検討して実施】 過去の補助実績や今後策定されるエネルギービジョンの内容等を踏まえ、事業内容を再検討されたい。なお、検討に当たっては、建築住宅課への所管替も併せて協議されたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input checked="" type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	建築住宅課(建築指導担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	市営住宅整備事業	事業番号	12597

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2-6	住環境の改善
	施策目標	多様なニーズに対応した住環境を提供するまち	

2 事務事業の目的

目的	良質な居住環境の供給を図るため、ユニバーサルデザインの視点と景観等環境に配慮した市営住宅の整備を行う。
成果	耐用年数を経過し、老朽化が著しい住宅の建替整備と住戸改善を推進し、良質で安全、安心な居住環境の供給が図られる。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	光洋団地7-1・7-2号棟鉄筋コンクリート造2階建2棟16戸建設、駐車場整備工事7号棟16台、緑地整備工事7号棟、造成工事7号棟、光洋団地(後期)敷地測量、光洋団地(後期)基本設計						
	28	光洋団地(後期)8・9号棟実施設計、地耐力調査、既設住棟除却4棟16戸、光洋団地(前期)確定敷地測量						
	29	光洋団地既設住棟除却1棟4戸、光洋団地(後期)木造平屋2棟6戸建設、既存住戸改善1棟4戸、道路整備181m、10・11号棟実施設計、地耐力調査						
	30	光洋団地既設住棟除却4棟16戸、光洋団地(後期)木造平屋2棟6戸建設、既存住戸改善1棟4戸、12・13号棟実施設計、地耐力調査						
	31	光洋団地既設住棟除却2棟8戸、光洋団地(後期)木造平屋2棟6戸建設、既存住戸改善1棟4戸、14・15号棟実施設計、地耐力調査						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		341,632	28,991	206,912	179,322	179,322	936,179
	内訳	国庫支出金		13,737	87,604	75,679	75,679	252,699
		道支出金	139,018					139,018
		地方債	200,000	13,700	106,900	92,300	92,300	505,200
		その他						
		一般財源	2,614	1,554	12,408	11,343	11,343	39,262
	人員(人工)		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
	職員費(人員×8,081千円)		16,162	16,162	16,162	16,162	16,162	80,810
総事業費		357,794	45,153	223,074	195,484	195,484	1,016,989	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
		合計/年						

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	ユニバーサルデザインの視点に立った市営住宅の整備割合	20%	22%	25%
	ユニバーサルデザインの視点に立った市営住宅整備棟数	6棟	14棟	22棟
	ユニバーサルデザインの視点に立った市営住宅整戸数	228戸	252戸	276戸
事務事業改善策 (継続事業のみ記入)	従前の既存住宅を解体し、建て替える手法のみならず、良質なストック(既存住宅)を有効活用する手法を加え、建設コスト縮減を図りながら良質な住環境を提供する。			

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	計画的な建替整備の継続、住戸改善により、良質で安全、安心な居住環境を提供すると共に、一定の入居待機者の解消が図られる。
-------------------	---

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 政策的に空家としている以外の団地については、ほぼ100%の入居率となっており、また、毎年約100件前後の空き待ち待機者が生じている状況にあるため。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 公営住宅法に基づき、住宅に困窮する定額所得者の方々に対して低廉な家賃での住宅提供を行なう必要があるため。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 耐用年限を超え、老朽化が著しい住戸を解消する必要があるため。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある ユニバーサルデザインの視点に立った市営住宅整備を推進し、多様なニーズに応じた住環境整備が図られるため。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 住宅に困窮する低額所得者の方々に対し、低廉な家賃で良好な居住環境の提供が図られるため。
カ. 事業の有効性	<input type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 子どもから高齢者等の誰もが安全に安心して暮らせるよう、ユニバーサルデザインを導入することで、多様な住まい方に対応できる住環境の推進が図られる。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【速やかに実施】 公共施設等総合管理基本方針等を踏まえながら、速やかに事業推進を図られたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 計画的な建替整備を継続し、多様なニーズに対応した住環境の提供に努める。

作成年度 平成27年度